

令和4年1月29日

横須賀市長 上地克明 殿

緊急要請書

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

共同代表	呉 東	正 彦
同	新 倉	裕 史
同	小 林	麻 利 子
同	今 野	宏
同	三 影	憲 一

1月28日、在日米軍が外務省に連絡したところによると、在日米軍関係者のコロナ感染拡大を受けて、1月10日から実施されていた米軍関係者の外出制限を、1月31日で終了するとのことでした。

しかし、1月28日の米海軍横須賀基地のフェイスブックによると、28日現在コロナ感染者は678人、前週からの新たな感染者が407人で、前週からも感染者数が増加しています。

横須賀市内でも感染者が増加していますが、米海軍横須賀基地関係者の感染者はそれよりはるかに高い人数です。また横須賀市内の増加傾向は米海軍横須賀基地関係者の増加傾向を後追いしており、他の自治体よりも人口比で高くなっています。

従って、上記によれば、米海軍横須賀基地のコロナ感染者は現在も増加しており、それが横須賀市民の感染者増にも影響しており、未だに外出制限を解除できるような状況にはなく、今解除されたら、それは日本中でとられているまんえん防止措置等と正反対の措置として、横須賀市民の感染者拡大に悪影響を与え、横須賀市民の強い不安と批判を招くことは間違いないと思われます。

従って、市民の安全、安心を守る立場から、この週末にも、また週明けの1月31日にも、緊急に以下の措置を取られることを要請します。

- 1、日本政府に対して、緊急に1月31日の米軍関係者の外出制限を延期し、解除しないよう、在日米軍に求めるよう、強く申し入れて下さい。
- 2、在日米軍は、基地が所在する自治体が講じている措置には従う、と言っているようで

す。日頃の米海軍との直接の交渉ルートを使って、在日米海軍、第7艦隊、米海軍横須賀基地に対して、感染者が増加している米海軍横須賀基地については、米軍関係者の外出制限を延期するよう、申し入れて下さい。

3、現在米海軍横須賀基地の感染者数は、1週間に1回のみで、これでは感染者の状況が明らかになりません。以前のように回数を増加するよう求めて下さい。

また、1月14日発表分から、新規感染者の感染ルートが明らかにされなくなっています。元通り明らかにするよう求めて下さい。

4、これまで外出制限、移動制限を実施してきたのに感染者が増加している原因は何なのでしょう。そして、狭い居住空間に生活している母港艦船の乗組員にも艦船が拡大したり、航海中に乗組員にクラスターが発生していないのでしょうか。

これらを確認し、明らかにするよう求めて下さい。

5、これまでの外出制限期間中にも、マスクをつけずに横須賀市内を歩いていた米軍関係者、公共交通機関内で大声で会話をしていた米軍関係者を見かけています。このようなことがないように、再度日本人なみの感染防止対策をとるよう申し入れて下さい。